

第27期 NEW第27期TER NEWSLETTER

1号より

☆☆☆☆☆☆ わたしたち 輝いています! ☆☆☆☆☆☆

西宮クラブ会長 佐伯 省吾

今期西宮クラブ16名全員は日頃のパワーワークの訓練を生かし、自分だけにとどまることなく、対社会へと発信、参画したいと考えております。

まず、9月例会は外国の留学生と共に「母親への思い」、また「日本における若者の社会現象」の教育ディスカッションを行う予定であります。10月は堺東クラブとの合同例会を行い、11月には、劇団四季の芸術鑑賞と今期は盛りだくさんで、有意義、かつ輝く西宮クラブでありたいと考えております。

是非、カウンスルの皆様、ゲスト参加していただき、できればその際、同伴例会として、出席していただくことを望んでおります。責任を持って、西宮クラブの一人ひとりの輝いたエネルギーをお見せできると考えております。

今期の年間テーマである「必要とされるITC」をスローガンに一年間頑張ってまいります。



姫路クラブ会長 小林 聖子

姫路クラブは、幅広い年齢層のメンバーが、世代を超えて楽しく活動しています。年齢や、会員年数のバランスが良いので、どの活動においても、皆が刺激を受け合いながら、常に高い目標に向かってレベルアップしています。

今期は、新しくなったマスターマニュアルを大いに活用し、基本を今一度しっかり学べるプログラム、教育を計画しています。

11月には、姫路城に隣接するリニューアルされた兵庫県立歴史博物館で、ストーリーテラーの小栗栖真弓氏による講演「天守閣に棲む妖怪」を行います。皆様と一緒に姫路城に棲む妖怪に会いに行きませんか？

姫路城タイムスリップ!!



舞子クラブ会長 小河フク子

今一番気になること「地球温暖化」「食の安全性」「ゴミの問題」に焦点を当て、リサーチスピーチ、出前講座等で総合的に勉強します。そして私たちが一社会人として、今何をしなければいけないのか、真剣に考え取り組んでいきます。

また、クラブ恒例の野外例会、芸術鑑賞会では少し角度を変えて会員同士のコミュニケーションを図り、知的財産を増やします。

そして即興スピーチコンテスト、ディベート、プレゼンテーションなどスピーチ力を高めるITCの基本的な「教育」にも力を入れ、会員一人ひとりの“輝きの源”にしたいと張り切っています。



☆☆☆☆☆☆ わたしたち 輝いています! ☆☆☆☆☆☆

関西クラブ 木村美佐子

我がクラブは、今、湧き輝いています。誕生32年にして初めての事が起きたからです。何が？、立て続けに男性が3名入会。更に数人が入ろうか否かで迷い中。彼等は私達の息子よりも若いのですよ。

皆さん、ご自分の息子と同じクラブでゆけますか。そんなこと出来はしません。それで、甘やかさ、いえ厳しくせな、でたーいへん。

こういうわけで、私達は改めて、急に、クラブのありようを議論したりなどして湧き、ITCを新鮮な目で意識し、息子みたーいと云いつつもそこは他人の子で男子・・・というわけで、身嗜にも気を配りはじめ「わたしたち輝いています」というわけなんです。一度見に来てください。



芦屋クラブ 中島由美子

今期30周年をむかえた芦屋クラブではチャーターメンバー2名を中心に「優雅な芦屋クラブ」の香りを踏襲して行くのはもちろん、毎月のプログラム・教育委員会は全員参加で例会での役割、進行を練り上げています。11月プログラムの「なりきりスピーチ」では芦屋ならではの超セレブな披露宴における祝辞を楽しみました。来賓の立場、背景を考慮し、服装やしぐさに至るまで個々で工夫を凝らすことでプロセスも楽しみました。少ない会員が常にフル回転することで、学ぶことも多く、毎回充実した例会だと自負しております。9月に男性会員、12月には女性会員とやる気のある若い仲間の導入式が出来たこと



で先行きに明かりが差しました。益々輝く芦屋クラブになればと願っています。

尼崎クラブ 山口 公子

今、尼崎クラブの一番の悩みは会員数が少ないことです。9名ですが、心を一つにして結束する、いい機会だと思っています。



アットホームな雰囲気です。少人数クラブだけれど、いい事もあるんですよ。

1月例会では、大勢のお客様を迎え「お香」を楽しみ、しばし十二単の世界に浸りました。

今期プログラムに新しく他クラブ訪問記を取り入れ、それぞれのクラブのいいところを発見しております。また、教育では「憲法を読む」を取り入れましたが、とても新鮮に感じています。寒い冬は時期が来れば春を迎えられますが、会員の増員はそうはいきません。

ITCを通して会員一人一人が輝き、春を引き寄せる努力をして参りたいと思っています。

しらさぎクラブ 久原 道子



会員数27名となり、今期の私達しらさぎクラブはスタートしました。それぞれ個性豊かなメンバーが役割の実

践、スピーチを通して互いに信頼を深め、触発され、回を重ねるごとに輝きを増してゆくようです。・・・前期プログラムではプロ・コンで「消費期限の表示」「バイオ燃料」等身近な社会問題を取り上げ、教育では基本をマスターすべくプログラムに沿ったテーマで学んでいます。後期、弥生3月は川柳に挑戦、4月には「利用者よっての通信機器」のタイトルでパネルディスカッションを試みます。役員就任式ではエンタテイナーに若きテノール歌手を招き、海辺のホテルでカンツォーネを聴くコンサートを予定、皆様のお越しをお待ちしています!!

☆☆☆☆☆☆ わたしたち 輝いています! ☆☆☆☆☆☆

ポート神戸クラブ 田中 基子

「輝いている姿を見て入会しました」という言葉の一方で、新入会員が3年未満で退会される理由を考えつつスタートした今期でした。「輝いていたあの時の姿をもう一度」と、教育・プログラムの内容充実への取り組みは必死でした。15周年記念例会を成功裡に終えられたことは、他クラブの皆様方の暖かい励ましと、会員全員の密な連携・連絡のお陰です。コミュニケーションがいかに大切であるか身をもって体験しながら、また、会員の増員だけに捉われず、勇気を持ってITCの原点に戻ることの意義も発見しつつ、再びポート神戸らしい輝きを取り戻すべく頑張っておりました。私達、また、輝き始めました。



淡路クラブ 國澤真紀子

淡路クラブが多くの先輩会員の皆様に見守られ誕生したのが約8年前のことです。早8年、もう8年、会員の思いはそれぞれですがこの誕生からずっと応援してくださり、見守ってくださる方々の多いことに私たちは誇りを感じ、感謝の気持ちで一杯です。

今期のテーマを「気持ち新たに」とし大きな目標ではなく、会員一人一人がこのクラブでの居場所を改めてしっかりと感じ、自分達の生活の一部になれるようにと目標付けました。自分達の生活に負担をかける活動ではなく、毎月の例会を楽しみに思えるようなプログラムを考え、野外例会もして変化をつけて続けていくことで会員が輝くクラブに繋がっていくと思います。さて私たちは今輝いて見えるでしょうか？



クリスタル神戸クラブ 江原 恭子

クリスタル神戸クラブは、三つの異なるカウンスル、12のクラブに所属する重複会員によって主に構成されている英語クラブです。メンバーは多才&多彩な個性派揃いですが、毎月真面目に英語での例会進行を学んでいます。教育には早速に新マスターマニュアルをシリーズとして取り上げました。11月特別例会では講師にモグベル・マヒン様を迎え沢山のゲストご出席のもと、ベルシャ絨毯のお話と展示を楽しみ、併せて手作りプログラムも披露しました。

メンバーの熱意、柔軟性や優しさが集結した例会でした。まさに今期のテーマ『Appreciate Individual Personalities』のとおり一人ひとりの個性が輝くクラブです。

